令和7年度　八王子市立川口小学校　学校経営計画

校長　石川 真一

学校教育目標

〇よく考える子（基礎・基本の定着から主体的、対話的、深い学びへ）　◎思いやりのある子（自己肯定感を高め互いを尊重する）　〇健康な子（健康について考え心身を大切にする）

ビジョン　心の教育の充実を土台に「夢をかなえる学校」を創る

1.目指す学校

〇基礎・基本の定着を図り、学ぶことに自信を付ける。
〇心が豊かに成長するよう保護者・地域と協力する土台を構築する。
〇健康に関心をもち心と体を大切にする。

2.目指す児童像

〇主体的に学び考えを伝え合う子
〇あきらめず取り組む子
〇キャリア教育に取り組み将来の夢やあこがれをもつ子

〇「生命の尊さ」を核とした心の教育の充実を図る。
〇「すなお」な気持ちを育成し、やさしい言葉で伝え合う子
〇「いじめない力」を高め、友達を大切にする子
〇家族に感謝し、地域の活動に参加する子

〇自分の健康に関心をもち規則正しく生活する子
〇危険を予測し、安全に行動する子
〇感染症や熱中症にならないよう気を付ける子

3.本校の現状と課題

・すなおな気持ちで話を聞くことや主体的に学ぶことに課題がある。そのため、基礎・基本の定着を積み上げることに課題がある。
・言葉遣いや自分の考えをすすんで伝えることに課題がある。タブレット端末の使い方にも課題があるため、きまりを守って安全に活用できる力を育成する。

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	評価
学習指導	・算数科の基礎・基本の定着を図る。	・計算ドリルやプリントを活用し、前の学年までの定着を図る。 ・学習規律を身に付け、導入を工夫し主体的に学ぶ授業を実践する。	・「話を聞く」ことから取り組み、学習規律を身に付ける。 ・授業の導入を工夫し「学びたい・知りたい・調べたい」と思える授業を積み上げる。 ・学習課題を設定し、個で思考する時間を確保し、必要感をもたせ伝え合い学びを深める。 ・四則計算の定着を図るため計算プリントを作成したりミライシードも活用したりして個に応じた学習をする。	80%の児童は「話を聞く」ことができるようになったが、学習規律を身に付けることに課題が残った。校内研究では、算数科の導入や振り返りを工夫し「学びたい・知りたい・調べたい」と思える授業を積み上げた。個で思考する時間を確保し、伝え合うことができるようになった。
	・国語科では、自分の考えを進んで伝える力を高める。	・思考する時間や振り返りの時間を確保し、考えを伝え合う。	・自分の考えをもち伝え合うことができるようペアや小集団を活用して自分の考えを伝え自信をもたせる。 ・国語辞典やタブレット端末を活用し、語彙を増やし伝えたいことを文章に表現する力を付ける。 ・物語文の学習では、叙述を基に考えたことを伝え、めあてに対する振り返りを行う。	ペアや小集団で自分の考えを伝える姿が見られ自信をもって学習する児童が増えた。タブレットを活用し、個に応じた学習に取り組み定着を図れるようになってきた。漢字を覚えても文章に表現することに課題が見られた。文字を丁寧に書くようになりノートも分かりやすく書いていた。
心の教育の充実（重点）	・特別活動の充実を図り、自己肯定感・自己有用感を育成する。	・学校行事や話し合い活動等を通して、協力しながら自分らしさを発揮する。	・学校行事や縦割り班活動など最高学年が見通しをもってリーダーシップを発揮し達成感を味わわせる。 ・話し合い活動では、互いの考えを尊重し「意思決定力」「合意形成力」を高め行動できるようにする。 ・クラブや委員会活動は、自主的に運営し前年度の取組を参考に、創意ある取り組みを行う。 ・学習発表会では、友達と協力しながら表現する楽しさを味わわせる。	最高学年が見通しをもってリーダーシップを発揮し、達成感を味わわせることもできた。学級や委員会活動では、話し合う中で、互いの考えを尊重し、意思決定をし合意形成を図りながら活動していた。クラブ活動でも自主的に運営し前年度の取組を参考に、創意ある取り組みを行った。 学習発表会では、友達と協力し自尊感情を高めることができた。
	・「いじめない力」を育成し、互いを尊重する心情を養う。	・内容項目に迫る、道徳の授業をを積み重ねる。 ・いじめ対策委員会で共通理解を図り、組織的に対応する。	・本音で伝え合う道徳の授業を積み重ね、学んだことを行動できる「動徳」を目指す。 ・生命を尊重し「いじめない力」を育成するため、全校朝会や学級で指導し、いじめの未然防止に取り組む。 ・ふれあい月間だけでなく、毎月ハッピータイムアンケートを実施し、いじめの早期発見・早期対応に努める。	本音を語せる道徳の授業を積み重ね、行動できる「動徳」を全校朝会で呼びかけ動けるようになってきた。代表委員会でも「やさしい言葉週間」に取り組みやさしい気持ちを膨らませ「ありがとう」と感謝の気持ちを表す児童が増えた。「いじめない力」も発信したがゼロにできなかった。いじめの早期発見・対応に努めたが十分でない面もあった。
体力向上・保健指導	・体力づくりを行い、すすんで運動に親しむ児童を育成する。	・体力・健康の保持増進ため季節に応じた教育活動を充実する。	・体育の授業では、めあてをもち主体的に運動する。また、協力して運動する楽しさを味わわせる。 ・水泳の学習は、民間施設を使うため熱中症や安全面に配慮して実施する。 ・体力運動能力調査結果を踏まえ、全校で持久走やボール投げを意識して取り組み体力向上を図る。	体育では、めあてをもち主体的に運動したり、協力して運動したりする楽しさを味わわせることができた。水泳の学習は、民間施設を使ったので熱中症や安全面に配慮して実施した。体力運動能力調査結果を踏まえ、持久走や50m走に課題が見られたので学校全体で改善を図っていく。
	・感染症や熱中症の予防を意識し、心身ともに健康に成長しようとする意識を育む。	・感染症や熱中症にならないよう、自分で行動できるようにする。	・感染症が流行しそうな時は、手洗いを励行し自分だけでなく友達の健康にも気を配って行動する。 ・熱中症にかからないようWBGTも活用し、子供たちが安心して学校生活が過ごせるようにする。 ・健康の大切さを学び、規則正しい生活習慣を身に付けられるよう家庭と連携を図っていく。	学級閉鎖になったが感染症が流行しそうな時は、感染が拡大しないよう対応した。友達の健康にも気を配って行動していた。熱中症にかからないよう早期対応をしたので、体調を崩さず安全に過ごすことができた。また、メガロス八王子の水泳指導も健康面を配慮し実施できた。
保護者・地域との連携	・保護者・地域の協力を得ながら、開かれた学校づくりを目指す。	・タブレット端末のきまりを守り、個に応じた学習に取り組めるよう、協力体制を構築する。	・タブレットルールを家庭に発信し、安全に使えるように協力を仰ぎ、基礎・基本の定着を図る。 ・学校公開や学校行事を通して、学校や学級の様子を保護者・地域に知ってもらえるようにする。 ・交通事故や情報事故に遭わないよう保護者・地域の協力体制を構築する。	タブレットやSNSルールを学習に連携して家庭に発信したので、トラブルはほとんどなく安全に活用した。ドリルパークなど基礎・基本の定着が図られるよう低学年でも主体的に活用した。学校行事等を通して、学校や学級の様子を保護者・地域の方に知ってもらえるよう取り組んだ。
	・地域に根ざした学校をつくるため、保護者・地域と連携した学運協の協力体制を構築する。	・心の教育の意識化を図り、保護者・地域と共に取り組んでいく。	・心の教育の具現化として「言葉遣い・あいさつ」など、保護者会や学校だよりで発信し協力体制を構築する。 ・学校運営協議会では、学校の状況報告や学校行事の実施について協議していただき、学校の応援団として計画的に教育活動が実施できるようにする。	言葉遣いやあいさつに課題があり、保護者会や学校だよりで発信し協力体制を構築した。学校運営協議会でも話し合い、PTAや青少対・町会の活動でも子供たちを共に育てる意識が高まってきた。学校行事の実施や近隣対応についても協議し教育活動を実施した。
進路指導等	・小中一貫教育の充実を図る。	・児童・生徒の交流を図り、教員相互も連携し、児童の円滑な接続を図る。	・小中一貫教育の方針を踏まえ、川口中学校グループ5校と連携し、教員同士の情報交換も行いながら中学校への円滑な接続を図る。 ・年3回の小中一貫教育の日だけでなく、部活動体験や4組との交流等を通して、「合同・一体化」を目指す。また、小学校同士の交流も計画的に実施する。	川口中学校グループが連携し、教員同士の情報交換も行いながら中学校への円滑な接続を図ることができた。前年度踏襲ではなく年間の交流の見直しや部活動体験の実施について検討した。川口中学校4組との交流も各学期に行い特別支援学級との交流も実施することができた。
	・地域人材を活用したキャリア教育を推進する。	・地域の人材を活用し、キャリア教育や環境教育を行う。	・ネーチャーガイドの協力を得て、川口川の豊かな自然に触れ生息する生物の観察を通して地域を大切にする心情を育む。 ・6年生の総合「私の将来」プロから学ぶでは、ゲストティーチャーを招き、望ましい勤労観や職業観を育み、中学校の職場体験につなげる。	地域の方々の協力を得て、川口川の豊かな自然に触れ生息する生物の観察を通して地域を大切にする心情を育むことができた。 6年生「プロから学ぶ」では、キャリア教育の充実に向けて、ゲストティーチャーを10人招き将来の仕事について考えるきっかけとなった。中学校の職場体験にも繋がることを意識させることができた。